

令和2年度神奈川総合産業高等学校（定時制）不祥事ゼロプログラム検証結果

神奈川総合産業高等学校は、「教育委員会不祥事ゼロプログラム作成方針」に基づき、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり「不祥事ゼロプログラム」を定める。

1 実施責任者

神奈川総合産業高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭がこれを補佐する。

2 取組課題・目標・行動計画

取組課題	目 標	行 動 計 画	達成状況
① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	公務員、特に教職公務員としての行動を自覚する。	(1) 事故・不祥事防止会議等を開催し、教育公務員としての自覚と倫理意識を持って行動するように、意識の向上を図る。 (2) 職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にして、健康で明るく元気な風通しのよい職場づくりを推進する。	A
② わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	(1) わいせつ・セクハラ行為の防止に関する事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 携帯電話・スマートフォンや電子メール等の適切な使用に関する事故・不祥事防止会議及び職場研修会を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。	B
③ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	(1) 体罰・不適切指導の防止に関する事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 生徒の人権を尊重した適切な指導が行えるように、教員間や部活動インストラクター等との連携と情報交換を密に実施する。	A
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。	(1) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 成績処理業務、試験問題作成、調査書及び各種証明書発行手続き等に関するマニュアルを整備し、マニュアルに基づく業務遂行の徹底を図る。また、点検については、複数の担当により慎重かつ正確な点検を実施する。	A
⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流しや誤廃棄を未然に防止する。	(1) 個人情報の管理、情報セキュリティ対策に関する事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 4月と3月に教職員の個人情報登録状況の確認を行うとともに、個人情報の持ち出し・返却や廃棄の際の手続きの徹底を図る。	A

⑥	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	(1) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守に関する事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 交通法規の遵守と交通事故防止について、各種会議や打合せ等の機会を活用して、啓発資料を配付するなどして、意識啓発に努める。	A
⑦	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	不適切な業務執行を未然に防止する。	(1) 業務執行体制の確保等に関する事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 業務遂行にあたっては、グループや年次内で情報の共有を図り、構成メンバーが相互に点検・確認をするなど、業務が一人に偏ることのないように協力体制をとりながら業務を遂行する。	A
⑧	会計事務等の適正執行	適正な私費徴収・執行を行う。	(1) 私費会計に関する適正な処理に関する事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 私費会計担当者は、私費会計基準に基づき、会計業務を行うとともに、グループや年次内の構成メンバーにより複数の目で点検・確認を実施し、事故防止に努める。	A
⑨	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	(1) 入学者選抜に係る事故・不祥事防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識の向上を図る。 (2) 県教育委員会の指示を仰ぎながら、入学者選抜に係るマニュアル及び点検体制を整備するとともに、職員対象の研修会を実施し、職員全体の共通理解のもとに入学者選抜に臨む。	A

※ 達成状況の評価区分

A…行動計画に対して、ほぼ達成またはそれを超える状況になった。または、数値目標の80%以上だった。

B…行動計画に対して、計画通りの状況ではないが、一定の成果が上がっている。または、数値目標の50%以上80%未満だった。

C…行動計画に対して、計画通りの状況にはならなかった。または、数値目標の50%未満だった。

3 学校長の意見

令和2年度の行動計画に基づいて、事故・不祥事防止会議を職員会議後に位置付け、定期的に研修会等を実施するとともに、職員打合せ等において、教育長通知及び事故・不祥事防止関連資料の周知と、新聞報道等の事例を紹介するなど、職員の事故・不祥事防止意識の醸成を図り、事故・不祥事の未然防止に取り組んできた。

結果は、全ての項目において評価A及びBとなり、事故・不祥事防止の取組に対して、一定の成果を上げることができた。

次年度も、職員全体のコミュニケーションを大切にしながら、風通しのよい職場環境を構築し、事故・不祥事を出さないように、学校全体で取り組む所存である。

4 令和3年度の重点課題

- 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守
- 個人情報の管理、情報セキュリティ対策
- 業務執行体制の確保等
- 入学者選抜に係る事故防止